



草津市長との懇談会



平成30年5月8日(火)草津市役所で草津市長とKIFAの会長・副会長とで、昨年度の活動報告と今年度の活動計画についての懇談をしました。

昨年に引き続き、平成30年5月8日(火)に橋川草津市長と草津市国際交流協会(KIFA)関係者の懇談会を行いました。草津市側は橋川市長とまちづくり協働部の中村副部長、角課長が出席され、KIFA側は南会長、青地副会長、中西副会長、浦事務局長が出席しました。

議題としては①平成29年度の事業報告、②3年間継続した文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の報告、③平成30年度の計画について話し合いました。

各項目に関する市長のコメントは以下のとおりです。

- 1 平成29年度のKIFA事業の実績に関しては、『各部会共に決められた予定通りに活動され、所定の成果が得られたことに感謝する。』
- 2 文化庁事業に関しては滋賀県で初めての取り組みであり、3年間に合計5,300,000円の助成金を受けての事業を行い、他の協会よりも高い評価を得ているという報告に対して、『草津に住む外国人の様々な課題や解決方法等とり上げて頂き感謝している。直ぐに取組める課題もあるが担当各部署の意見を聞いて対応していかねばならない課題も多い。しかし、草津市への課題提供と受止めて前向きに検討して行くので、必要な時点でのKIFAの協力を宜しく願います。このような取り組みを通じて、日本人がどう変わっていく

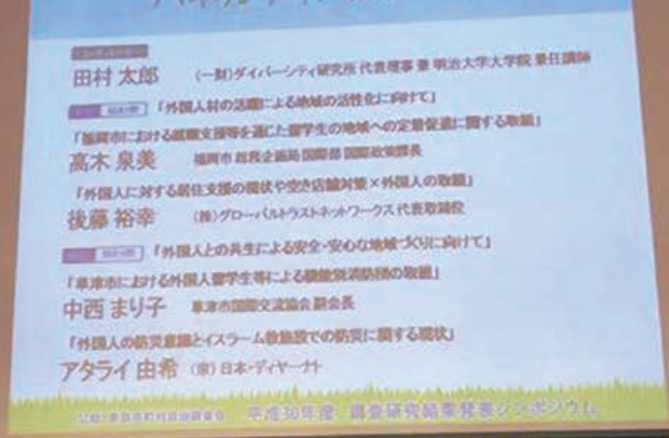
かが課題であるため、KIFA活動の中にも行政と民間の協業で、新たな動機付けの活動を目指してほしい。』

- 3 平成30年度事業に関する計画については、『国際交流・国内交流に関しては、今後神奈川県伊勢原市も友好都市になっていく可能性がある。機能別消防団の育成に関してもKIFAの協力を得て進められているので、今後もさらに危機管理課、消防団と協力して前向きに取り組んでいって欲しい。国際理解、多文化共生に関しても積極的な展開を期待する。』

行政と協働で活動を進めている観点より、今後も年に1度の懇談会を継続して行きたいと考えています。

(草津市国際交流協会 事務局長 浦 幹夫)





多文化共生シンポジウム

7月23日 東京都府中市で行われた 公益財団法人 東京市町村自治調査会主催の『地域戦略としての多文化共生』というシンポジウムに、中西副会長が招待され講演とパネルディスカッションに参加されました。



7月23日 東京都府中市で行われた公益財団法人 東京市町村自治調査会『地域戦略としての多文化共生』というシンポジウムに講演、パネリストとして参加させていただきました。

人口減少・少子高齢化社会において外国人を支援の対象としてだけでなく、地域の担い手として捉えることは必要不可欠な時代になってきました。「草津市における外国人留学生等による機能別消防団の取組」というタイトルで、日本初の外国人による機能別消防団員が誕生した経緯、彼らの活動の様子と今後の課題などを話させていただきました。

参加者は、東京市町村自治体職員が大半でした。きっと2020年のオリンピックに向けてたくさんの外国人を迎えるにあたり経済や防災に関しての整備が急がれているのでしょう。

当日は、登壇者と主催者代表理事の調布市長、そして開催市の府中市長とのランチミーティングもあり、若い市長からの質問に答えるのに必死で、

ヘルシーなハラルランチも味がわからなかったくらい緊張していました。

しかし、田村太郎さん(以前私が多文化共生マネージャーの研修を受けた時の講師)のすばらしいコーディネートのおかげで、なんとか無事大役を果たすことが出来ました。

今回このシンポジウムに参加させていただき、地域における外国人材に対する見方の転換(支援する相手から地域経済の担い手へ)や「多文化共生」に対する意識の変革(文化交流・コミュニケーション支援から地域戦略としての多文化共生へ)を体感できました。

これからの日本社会では外国人住民が増加しつつあり、草津市においては昨年だけでも300人余り増えました。今後ますます、外国人住民に地域の担い手として活躍してもらうことが必要になるのではないかと、いかに言語の壁を乗り越え、文化を理解し、行政や自治体と協力できる体制づくりを留意していくのか。その中でKIFAが果た



す役割は大きいと感じています。今回このような貴重な機会をいただいたことに感謝しております。

今後、多文化共生の視点をもった市民を増やすお手伝いや、草津市の外国人たちに安全に安心して住み続けてもらうために、防災知識を含めた多文化共生の取組をKIFAの一員として協力していきたいと思っています。

(草津市国際交流協会 副会長 中西まり子)

※機能別消防団とは…
災害時のコミュニケーション不足の問題解決のために草津市で誕生した消防団

インターンシップ

立命館大学の学生2人をインターンシップで受入れています。フレッシュな考えでKIFAイベントの企画を進めてもらっています。



今回私は、立命館大学の全学インターンシップというプログラムの活動として、KIFAの活動に参加させてもらっています。インターンシップ先を決める際、滋賀、京都、大阪を中心に30ほど団体が

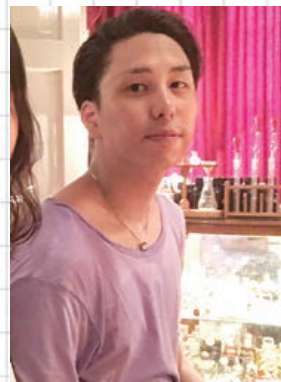
あったのですが、私は昔から国際交流に興味があったという点と、代表者の浦さんや中西さんの人柄に惹かれて、こちらのKIFAを選ばせていただきました。

KIFAの活動に参加させてもらって感じたことは、KIFAは子どもから大人まで、そして日本人だけでなく、様々な国籍の人でも楽しめる企画を運営されているという点です。誰でも自由に参加でき、楽しみながら世界の様々な文化を学ぶことや、日本の文化を再発見できる機会に参加できて、本当に嬉しく思います。

また、KIFAの企画に参加された立命館の留学生が、「どうやったら日本人の友達ができるか」と悩んでいる姿を見て、KIFAの活動にもっと学生が参加できるように私自身が友達に呼びかけたり、SNSを利用するなどの工夫をしていきたいと思いました。

今回私は、同じ全学インターンシップで活動している梶原君と一緒に、9月末に開催される多言語カフェの運営に携わることになりました。私のような学生にも運営の機会を設けていただいたこと、そして沢山の人が手助けやアドバイスをいただいていることに感謝しつつ、当日の多言語カフェを素晴らしいものにしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(立命館大学インターンシップ生
伊牟田 彩日さん)



私は立命館大学国際関係学部三回生の梶原貴徳です。今回KIFAのインターンに参加させていただいています。私は高校時代に老人ホームや地元のお祭りなどのボランティアを経験し、ボ

ランティアの大変さなどを経験しました。大学生になってからは国際関係学部にも所属しています。そのため、留学生との交流も多くしています。さらに、大学が公式に行なっている二回生が一回生を世話するボランティア活動などを経験し、自分達で企画を考え、予算のやりくりなどの苦労も体験することができました。この二つの経験を生かすことができる場所であると考え、今回KIFAのインターンに応募させていただきました。

今回のインターンにおいて微力ではありますが、自分のこれまで培った能力を発揮し、お役に立てるようにするとともに、自分の能力を進化させることが目標です。そのため、これからもこのインターンを全力で取り組んでいきます。短い間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(立命館大学インターンシップ生
梶原 貴徳)



韓国語

ディスカバリー・カフェ 多言語カフェ

7月4日(水)にUDCBK(アーバンデザインセンターびわこ・くさつ)でKIFA多文化共生部会ディスカバリー・カフェ主催の多言語カフェ「韓国語」を開催しました。

平成30年7月4日水曜日の午後6時からUDCBKで多言語カフェ ～韓国文化&韓国語～を開催しました!

なんと、講師役の韓国人のクマさんがうっかり電車で乗り間違え、時間になっても来ない!というハプニングもありましたが、その間に参加してくれたみなさんの自己紹介をしたり、韓国人留学生の方たちに、「なんで遅れた

の?!」というフレーズの韓国語を教えてもらい、練習したりし、クマさんの到着を待ちました!そしてクマさんの到着をみんなの韓国語でお迎えしました(笑)

クマさんは息を切らしながらも、早速韓国の紹介や韓国語の成り立ち、韓国料理、おすすめソウル観光地などスライドを見せながらたくさんお話ししてくれました。そして、クマさんにK-popダンスも教えてもらい、みんなで少し踊ってもみました。

今回は参加者の年齢も国籍も幅広く、韓国の回ではありましたが、ベトナムのことやインドのことも教えてもらいながら韓国のお菓子を食べたりし、あっという間に2時間が過ぎたように

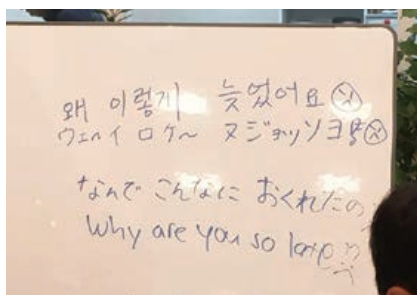


思います。

講師役のクマさんはもちろん、参加して下さったみなさん、本当にありがとうございました!カムサハムニダ!

次は9月にポリビア人を講師に、ポリビア文化&スペイン語を開催予定です♪

(草津市国際交流協会会員
清田 真弓)



講師 クマさんのコメント

まず、この多文化カフェの韓国語カフェが無事に終わって嬉しい限りです。

このカフェの時間で韓国をよく知らなかった方も知っている方も、良い話題を作って参加して下さった方々の中の韓国を、ゆるい感じで語り合える時間を作れたので個人的には貴重な時間と経験になりました。

次回にまた同じ韓国語カフェがあったらその時も先生としての参加は難しいかも知りませんが、参加者として参加して、皆さんの中の韓国をぜひ、語り合いたいです。

カムサハムニダ。

(韓国出身 イ・サンミンさん)



※クマさんはイ・サンミンさんのニックネームです。



8月24日(金)に南草津フェリエの市民交流プラザで、草津おみやげ隊との共催イベント「オリジナル草津おみやげ隊弁当をつくらう」を開催しました。

8月24日草津市立市民交流プラザで、「～秋の行楽に！運動会に！自慢したい！～ オリジナル草津おみやげ隊弁当をつくらう」イベントを、KIFA共催で、草津おみやげ隊が開きました。元々は結婚で草津に移り住んだ子育て世代の女性が、帰省のときに持っていく「おみやげ」が草津には少ないのが淋しいと発足し、みんなの特技を活かした「おみやげ」づくりの活動を2016年から行ってきました。その活動を通して、海外から日本に移り住んだ人・留学生も、「草津おみやげ」を欲していることを知りました。そこで今回、カレーライス弁当などの商品を考案し販売されている滋賀県立湖南農業高校の協力で、お弁当クッキングを38人の参加者で行いました。愛彩菜(あいさいな)・みずかがみ(お米)の草津市産、水口かんびょう、赤こんにやく・比叡ゆば・お漬物など滋賀県産の食材をたくさん使い、滋賀の郷土料理おええ団子などをアレンジした、草津おみやげ隊オリジナルおかず4品を作りました。愛彩菜入りウインナーづくりも盛り上がり、湖南農業高校考案のカレーライスを添えて、インスタ映えするようなお弁当に盛り付けました。同時に中学生が挑戦するYouTube講座も行われ、活動の様子を世界へ発信する機会を設けました。

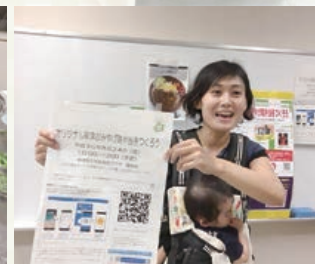
いざ試食&交流タイム！今回使われた食材などを「やさしいにほんご」でみんなに紹介して、景品の食材をゲットし、家庭でも楽しんでもらおうというゲーム企画も行いま

した。今回の活動で、みなさんに草津市産、滋賀県産の食材を美味しく楽しく知って、「おみやげ話」として持ち帰ってもらうストーリーを生むことができました。草津に新しく住む人、外国にルーツを持つ人、地域の人、学生を、草津の文化・歴史と結びつける機会として「草津おみやげ」開発を目指し、特産品のPRだけでなく、KIFAと繋がることにより、多文化共生の推進など地域の課題を解決することができるのではないか、新しい価値を生み出す存在となれたらと思っております。活動に関わっていただき、ありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

(草津おみやげ隊 代表 大塚 佐緒里)



オリジナル 草津おみやげ隊 弁当をつくらう



国際理解講座 モンゴルDAY



8月4日(土)に草津市立まちづくりセンターで、今年度の国際理解講座「モンゴルDAY」が開催されました。

2018年8月4日(土)に草津市立まちづくりセンターにて、国際理解イベント「モンゴルDAY」を開催しました。午前のモンゴル料理教室は、講師に内モンゴル出身のリュウさんをお迎えし、羊肉のクミン炒め、ほうれん草のピーナツサラダ、焼きもちを作って試食しました。作った料理はどれもおいしくて、食欲のなくなる夏にもピッタリでした。午後は、同じく内モンゴル出身のオロゴンさんにも加わっ

ていただき、お二人からモンゴル文化の紹介と、モンゴル音楽のライブを行っていただきました。パワーポイントを使った丁寧な文化紹介と、リュウさんの歌とオロゴンさんの馬頭琴のライブでとても楽しい時間を過ごすことができました。リュウさん、オロゴンさん、本当にありがとうございました。

(草津市国際交流協会 事務局 緒方 加代子)



ほうれん草ピーナツサラダ

材料(二人前)

ほうれん草 …150g	砂糖……………少々
ピーナツ …50g	味の素……………少々
油……………適量	胡麻……………お好み
塩……………適量	生姜の粉…お好み
中国黒酢……………適量	

作り方

- ①ほうれん草の根を手でちぎってから洗う(鉄の匂いをさせないため)。
- ②さっと茹でたほうれん草を、冷たい水に入れて冷ましてから水を切る。
- ③ピーナツを油で炒めて、冷やしておく。
- ④ホウレンソウ、ピーナツ、調味料を混ぜ合わせる。



やさしいにほんごさろん

マレーシア編

7月20日(金)にUDCBK主催KIFA協力「やさしいにほんごさろん」の特別企画として「マレーシアの食べものを味わいながら、やさしい日本語で語りあおう」を開催しました。

As a Malaysian, I am really grateful and felt appreciated because KIFA were so nice and willing to organized this such event in Japan. I also felt glad that finally I can shared and explained about Malaysia to Japanese, because Malaysia are not so well known to them. Especially I can explained why are we dressed like this and what food we should eat and should not eat as a Muslim. I also was touched when I saw many Japanese and other people from other country participated on this event. Since I was the one who prepared Malaysian foods for this event, I felt extremely delighted that everyone enjoyed my foods even though the burger Malaysia quite spicy. I was very happy to receive and answer many questions about Malaysia from the Japanese. I really had fun exchanging information and making new friends. I also felt glad that there was an opportunity to introduce Malaysia, Malaysian people, culture and foods to other people. Finally, I hope I can join this kind of event again next time, and maybe event about other country. It must be interesting and exciting. Thank you.

(マレーシア出身 ハナニさん)



案内 姉妹都市提携40周年記念友好親善使節団を派遣します

草津市では、ポンティアック市との40年にわたる姉妹都市交流を記念して、2018年11月に友好親善使節団を派遣します。使節団の団員は6月に抽選会を経て決定されました。また、40周年友好親善使節と同日程で草津市中学生海外派遣団を派遣します。KIFAではこの事業運営に協力しています。



- 日程：2018年11月2日(金)～11月9日(金)
- 使節団構成：友好親善使節団（市民15名、市関係者5名）
中学生海外派遣団（中学生7名、教育関係者4名）

案内 ハロウィン エコキャンドル作り

KIFAと循環型社会創造研究所えこらと共催で第5回クサツハロウィンに出店します。廃油でカラフルなエコキャンドルを作ります。



- 日時：2018年10月28日(日)
10:00～15:00
- 場所：草津市民センター前ひろば
(トンネルのそば)
- 内容：エコキャンドル作り
- 料金：300円

案内 第19回パワフル交流・市民の日 ～新しいつながりとわくわくを見つけよう～

「パワフル交流・市民の日」は、草津市内で活動している色々な団体が参加し、交流を広げる場です。KIFAブースでは、外国籍の方と楽しく交流ができる場を企画中です。是非お立ち寄り下さい。



- 日時：2018年11月10日(土)
11:45～14:10
- 場所：草津市立まちづくりセンター
- 内容：外国の方との楽しい交流

